



2024年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社 ワキタ
コード番号 8125 URL <https://www.wakita.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田貞二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 成山敦彦
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6449-1901

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	65,346	11.9	4,260	3.1	4,382	2.8	2,472	10.5
2023年2月期第3四半期	58,383	4.6	4,396	2.8	4,511	2.6	2,763	11.4

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 3,194百万円 (3.6%) 2023年2月期第3四半期 3,083百万円 (16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	49.54	
2023年2月期第3四半期	53.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	144,546	99,828	68.4
2023年2月期	138,652	99,574	71.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 98,873百万円 2023年2月期 98,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		38.00	38.00
2024年2月期(予想)				43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	14.1	6,400	11.0	6,550	11.4	4,200	7.6	83.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	52,021,297 株	2023年2月期	52,021,297 株
期末自己株式数	2024年2月期3Q	2,632,958 株	2023年2月期	1,888,341 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	49,908,306 株	2023年2月期3Q	51,300,835 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年11月30日)におけるわが国経済は、アフターコロナへの転換に伴い経済活動の正常化が進展し、景気が持ち直された一方で、ウクライナ侵攻の長期化や不安定な中東情勢などの影響による資源価格やエネルギー価格の高騰、為替相場の急変動などにより、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの中核事業である建機事業を取り巻く環境においては、公共投資は底堅く安定的に推移し、民間設備投資についても持ち直しの動きが見られるものの、建設コストの上昇や土木建設の担い手不足等の影響により、業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2022年4月に2025年2月期を最終年度とする「2025 中期経営計画」を策定し、「安定から成長へ」と目標を定め、PBR向上の実現に向けた経営の推進のための成長シナリオを創出する施策である、ネットワーク展開、建設ICTの強化、介護事業の拡充及び人材戦略に注力してまいりました。また、当社グループは持続的成長と中長期的な企業価値向上を図って参りましたが、建機レンタル事業において、仕入価格が高騰した貸与資産に相当する価格転嫁が遅れていることに加えて、当社及び当社グループ各社で地域間による市況の格差が生じました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、653億46百万円(前年同期比11.9%増)、営業利益は42億60百万円(前年同期比3.1%減)、経常利益は43億82百万円(前年同期比2.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、24億72百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業では、販売部門は為替相場の急変動の影響で輸入製品の仕入価格上昇による売上原価の増加があったものの、取引先の購買意欲が回復傾向にあり、売上高・利益面とも伸びました。

賃貸部門は民間・公共事業ともにレンタル需要は引き続き堅調に推移し、資産機の高水準投資の効果により売上は伸びたものの、資源やエネルギーなどの値上がりにより、仕入価格が高騰した賃貸資産のレンタル価格転嫁の遅れの影響や東北、長野県などの地域間による市況の格差により利益は減少いたしました。

その結果、建機事業全体の売上高は、541億5百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益は、24億65百万円(前年同期比12.8%減)となりました。

② 商事事業

商事事業では、販売部門はカラオケ市場環境の復調と新規開拓により売上高・利益面ともに増加いたしました。

賃貸部門は介護事業を行う連結子会社サンネットワークリブ株式会社の積極的な先行投資が功を奏しました。また、新たに連結子会社に加わった株式会社ワキタケアネットの業績が第2四半期より組み込まれ、売上高・利益面ともに増加いたしました。

その結果、商事事業全体の売上高は、63億44百万円(前年同期比111.0%増)、セグメント利益は、3億28百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

③ 不動産事業

不動産事業では、賃貸部門において保有している商業ビルやマンション等の稼働率が堅調に推移したことに加え、ホテル事業の稼働状況も堅調に推移いたしました。

その結果、不動産事業全体の売上高は、48億97百万円(前年同期比9.0%増)、セグメント利益は、14億66百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ58億94百万円増加し、1,445億46百万円となりました。これは主に、のれんの増加40億95百万円及び建物及び構築物を主体とした有形固定資産の増加34億67百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ56億39百万円増加し、447億17百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加28億91百万円及び長期設備関係未払金を主体とした固定負債の増加21億24百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円増加し、998億28百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加6億4百万円、その他有価証券評価差額金の増加6億円及び自己株式の増加10億72百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月7日の決算発表時に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,210	18,217
受取手形及び売掛金	20,182	21,705
有価証券	3,713	600
商品	5,305	—
商品及び製品	—	5,047
貯蔵品	150	—
原材料及び貯蔵品	—	221
仕掛品	—	144
その他	975	1,055
貸倒引当金	△69	△92
流動資産合計	50,467	46,899
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	12,457	13,354
賃貸不動産（純額）	42,678	43,475
土地	11,079	11,564
その他（純額）	9,501	10,790
有形固定資産合計	75,716	79,184
無形固定資産		
のれん	6,070	10,166
その他	636	800
無形固定資産合計	6,706	10,966
投資その他の資産		
投資有価証券	2,991	4,507
退職給付に係る資産	787	857
その他	2,484	2,740
貸倒引当金	△503	△608
投資その他の資産合計	5,761	7,496
固定資産合計	88,184	97,647
資産合計	138,652	144,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,626	13,518
短期借入金	920	750
1年内返済予定の長期借入金	122	118
未払法人税等	1,201	796
賞与引当金	405	363
製品保証引当金	—	9
その他	7,573	8,807
流動負債合計	20,848	24,363
固定負債		
長期借入金	543	528
役員株式報酬引当金	106	89
役員退職慰労引当金	21	27
退職給付に係る負債	283	363
その他	17,275	19,344
固定負債合計	18,229	20,353
負債合計	39,078	44,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	71,092	71,696
自己株式	△2,154	△3,226
株主資本合計	99,386	98,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,086	1,686
繰延ヘッジ損益	185	247
土地再評価差額金	△2,144	△2,144
退職給付に係る調整累計額	195	163
その他の包括利益累計額合計	△676	△45
非支配株主持分	864	955
純資産合計	99,574	99,828
負債純資産合計	138,652	144,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	58,383	65,346
売上原価	42,452	47,200
売上総利益	15,930	18,146
販売費及び一般管理費	11,534	13,885
営業利益	4,396	4,260
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	106	91
仕入割引	30	31
為替差益	31	35
投資事業組合運用益	32	30
その他	49	85
営業外収益合計	254	275
営業外費用		
支払利息	97	137
その他	42	15
営業外費用合計	139	153
経常利益	4,511	4,382
特別利益		
固定資産売却益	15	7
特別利益合計	15	7
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	8
その他	—	1
特別損失合計	4	10
税金等調整前四半期純利益	4,521	4,379
法人税、住民税及び事業税	1,764	1,861
法人税等調整額	△97	△29
法人税等合計	1,666	1,832
四半期純利益	2,855	2,547
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,763	2,472

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	2,855	2,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	600
繰延ヘッジ損益	306	77
退職給付に係る調整額	△19	△31
その他の包括利益合計	228	646
四半期包括利益	3,083	3,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,931	3,103
非支配株主に係る四半期包括利益	152	90

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、当社の取締役(監査等委員である取締役を除く。以下同様。)を対象にした株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下、「本信託」という。)が当社株式を取得し、当社が各取締役が付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役に対して交付されるという、株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末133百万円、115,950株、当第3四半期連結会計年度末104百万円、90,950株であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,881	3,007	4,494	58,383	—	58,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	—	2	△2	—
計	50,882	3,009	4,494	58,385	△2	58,383
セグメント利益	2,829	284	1,282	4,396	△0	4,396

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,105	6,344	4,897	65,346	—	65,346
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1	—	3	△3	—
計	54,107	6,345	4,897	65,349	△3	65,346
セグメント利益	2,465	328	1,466	4,260	△0	4,260

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(表示方法の変更)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報を、「注記事項(収益認識関係)」に記載する方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報も「注記事項(収益認識関係)」に記載しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建機事業	商事事業	不動産事業	計
売上高				
販売収益等	29,238	1,442	692	31,373
賃貸収益等(注)	21,638	1,541	3,801	26,981
その他	4	23	0	28
外部顧客への売上高	50,881	3,007	4,494	58,383

(注) 賃貸収益等には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等として建機事業18,672百万円、商事事業1,541百万円、不動産事業3,288百万円がそれぞれ含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建機事業	商事事業	不動産事業	計
売上高				
販売収益等	31,380	2,350	848	34,579
賃貸収益等(注)	22,710	3,972	4,048	30,730
その他	13	21	—	35
外部顧客への売上高	54,105	6,344	4,897	65,346

(注) 賃貸収益等には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等として建機事業19,615百万円、商事事業3,972百万円、不動産事業3,306百万円がそれぞれ含まれております。